

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：11/4～11/8

・11/4(月)

日韓首脳一年ぶりの対話、憲法改正、アメリカ大統領選挙、RCEP、日中関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。また憲法改正については判断を保留しました。なお、憲法改正については検証者の所感を記しました。

・11/5(火)

アメリカがパリ協定離脱通告、参議院の木村議員の初質疑、東京五輪のマラソン移転、韓国文喜相氏が謝罪、天皇皇后両陛下が文化功労者と茶会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、参議院の木村議員の初質疑については判断を保留しました。

・11/6(水)

閣僚の任命責任、大学入試、スティルウェル国務次官補が訪韓などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、閣僚の任命責任については他の放送日とのあわせての判断が必要と考えられるものでした。また、大学入試については検証者の所感を記しました。

・11/7(木)

皇位継承をめぐる問題、下村元文科相が“業者と蜜月”報道を否定、五輪マラソン競歩競技の開催地変更問題、障害者の権利保障、憲法改正をめぐる問題、米軍基地をめぐる問題、台風被害からの復興などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、皇位継承をめぐる問題、下村元文科相が“業者と蜜月”報道を否定については検証者の所感を記しました。

・11/8(金)

国会論戦、表現の自由、税金の無駄遣い、中東情勢、台風被災地支援などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、国会論戦については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年11月4日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：日韓首脳一年ぶりの対話、憲法改正、アメリカ大統領選挙、RCEP、日中関係		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首里城火災の出火原因解明 ・日韓首脳一年ぶりの対話 ・被災地に広がる支援の輪 ・憲法改正 ・アメリカ大統領選挙 ・天王寺動物園からワライカワセミが脱走 ・RCEP ・日中関係 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#読書の秋 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓首脳一年ぶりの対話：結論→特に問題なし <p>スタジオでの小川キャスターの「今日、急遽、安倍総理と韓国のムン大統領の話し合いが実現しました、短い時間でしたが、このように膝を突き合わせたのは去年の9月以来ということになるんですね、で、この話し合いを受けて、韓国側は歓談とかなり前向きなニュアンスを込めて表現したんですが、日本側は言葉をかかわした、という表現にとどめているんですね、この微妙な温度差の背景には何があるんでしょうか。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「タイで開催中のASEAN関連の首脳会議、対話の兆しは昨日の夜からありました。記念撮影で隣り合わせとなった安倍総理夫妻とムン・ジェイン大統領夫妻が笑顔で握手を交わしたのです、両首脳のさらなる接触はあるのか。事態がさらに動いたのは今朝の会議の直前でした。」</p> <p>韓国大統領府報道官「遅れて到着した安倍首相を隣の席に導き、11分間の単独歓談の時間を持った。」</p> <p>"ムン・ジェイン大統領（韓国側の説明による）「座って話しましょう。」</p> <p>ナレ「ムン大統領の提案で突発的に11分の対話の実現したといます。着席しての対話は実に1年1ヶ月ぶり。韓国側は写真まで公表し、こうアピールしました。」</p> <p>韓国大統領府報道官「非常に有効的で真摯な雰囲気の中、歓談を続けた。」</p> <p>"ナレ「両首脳は日韓の懸案は対話を通じて解決すべきだという原則を確認した、といます。ただ、日韓の発表には若干の食い違いも。韓国側は今回の対話を歓談と前向きな言葉で読んだのに対し、日本側は言葉をかかわした、とだけ説明しているのです。さらに韓国側の説明では両首脳の間ではこんな前向きなやり取りがあったとされています。」</p>		

ムン大統領（韓国側の説明による）「必要ならば、さらに高いレベルの高官級協議をする案も検討してみよう。」
安倍首相（韓国側の説明による）「すべての可能な方法を通じて解決方法を模索する努力をしよう。」 "

"ナレ「しかし、日本側はこの総理の発言を公式には認めていません。」

西村康稔（官房副長官）「総理からは従来どおり、外交当局間により懸案を解決したい旨応じた。」

ナレ「日本側は最大の懸案、徴用工問題についても日韓請求権協定で解決済だとする立場をしっかりと伝えた、と発表。日韓の温度差が鮮明となっています。」 "

"ナレ「一方、この徴用工問題で、韓国側から新たな解決案を示されました。来日中の文喜相国会議長が、元徴用工に支給するため、関連する日本企業や恩恵を受けたとされる韓国企業、そして日官僚国の個人から寄付金を募る考えを明らかにしたのです。」

文喜相（韓国国会議長）「寄付金であり、強要はしない。」

ナレ「自発的な寄付を募る案が明らかにされるのは今回が初めてです、相次ぐ新たな動きは事態の打開につながるのでしょうか。」 "

VTR を受けてスタジオではいかに朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「今日の話し合いは11分という短い時間だったとはいえ、久々に日韓の首脳が向き合うということになりましたけれども、今、どういった局面を迎えているのでしょうか。」

星浩「そうですね、今、実は両国とも事情を抱えているんですね。まず韓国側は GSOMIA を一旦破棄すると言ったんですけれども今月 22 日に期限を迎えるんですね、アメリカが猛反発してしまっていて、まあそういう事もあって残留したいんですけれども日本側からなにかの譲歩案がなければちょっと韓国側からしてもメンツが立たないということで困った状況なんですね。一方日本側は輸出管理を打ち出したものですね韓国側が今度反発して、観光含めて日本経済にもいろんな影響が出始めた、そういう事情ですよ。」

小川彩佳「お互いに譲れないものがあるなかでこの輸出管理とそれぞれこう GSOMIA と突きつけあっているだけではなかなか前に進まない、と。そういったなかでいよいよ本気でなにか落とし所を探るといようなときに入ってきているんですか。」

星浩「まあ根っこにあるのは徴用工問題というのはお互いがもう分かっています、今回 11 分の会談でも徴用工問題どうにかしないといかなんということは一一致したんだと思うんですね。まあそこでムン大統領から高官レベルの話し合いをしましょうと持ちかけて、安倍総理の方もまあ否定はしてませんので、両国の外務次官どうしの話し合いが動き出すかどうか、これが今週から来週にかけての焦点になってくると思いますね。」 "

また、番組の途中で小川キャスターによって「さて、ここで訂正です、先程日韓首脳の話のニュースの中で官房副長官の名前を誤って西村康稔氏、と字幕でお伝えしたんですが正しくは西村明宏氏です、お詫びして訂正いたします。大変失礼いたしました。」というお詫びと訂正が差し込まれていた。

このトピックに当てられた時間は 623 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 憲法改正：結論→判断保留

憲法改正について小川キャスターの「今日は文化の日の振替休日なのですけれども、そもそもなぜ文化の日なのか皆さんご存知でしょうか。終戦の翌年、1946 年の 11 月 3 日に日本国憲法が公布されたことを記念して祝日となったんですね、日本国憲法が施行された翌年の 5 月 3 日は憲法記念日になったわけなんですけれども、その

憲法公布から 73 年、安倍総理は今日、ビデオメッセージで憲法改正を訴えました。相次ぐ閣僚の辞任で足元が揺らぐ安倍政権ですが悲願の憲法改正は進むのでしょうか。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「会場には安倍総理のビデオメッセージが流されました。」

安倍総理（ビデオメッセージ）「憲法改正の道は決して容易い道ではありませんが、必ずやみなさんとともに成し遂げていく、そう決意しています。」

ナレ「今日、千葉県で開催された憲法を考える集会、自民党が作った憲法を改正し自衛隊を明記することなどについて説明する冊子が配られました。」

牧島かれん（自民党衆議院議員）「自衛隊を保持する、というふうに、自衛隊を私達にあ春存在として明記をする、ということを考えています。」

ナレ「およそ、60 人が参加し一時間半近くに渡り講師による説明のほか、意見交換が行われました。参加者からは。」 "

"参加者 A「私達にもよく、わかるような感じがしました。やっぱり身近に感じないじゃないですか。それを身近に伝えていただければ。」

参加者 B「1 年や 2 年でできることではないと私は考えている。10 年かかる。」 "

"ナレ「安倍総理の悲願でもある憲法改正。先月国会での所信表明演説では。」

安倍総理（先月 4 日）「令和の時代の新しい国造りを皆さん、ともに進めていこうではありませんか。その道しるべは憲法です。」

ナレ「さらに、憲法審査会での議論は国民への責任だと訴えました。」 "

"ナレ「先月 18 日には自民党の二階幹事長の地元、和歌山県でも、憲法改正をテーマに県民集会が開かれました。この集会について二階氏は」

二階俊博（自民党幹事長）「1000 人、2000 人という集会も極めて大事ですが、同時にだんだんだんだん小さい人数でもやっていけるように、自民党の各県連などが自然発生的にこのことを関心を持っているならどんどんやっていく。」

ナレ「講師を派遣して議論を深めていきたいとも語った二階氏。」 "

"ナレ「千葉県での集会は今日で 3 回目。議論は深まっているのでしょうか。」

猪口邦子（自民党参議院議員）「私がこの 3 回を通じて感じることは既に非常に深まっている、総理も重要だという発言をされているわけですから、一国会議員として自分の分のできることを、これを最大限やる。」 "

"ナレ「しかし、肝心の国会での議論は今の所停滞したままです。」

安倍総理（7 月）「少なくとも議論は行うべきである、これが国民の審判であります。」

ナレ「夏の参院選の勝利を受け、憲法改正の議論に民意を得た、と、安倍総理が強調する一方で。」

山口那津男（公明党代表）「選挙で民意を得られた、何の民意が得られたのかさっぱりわかりませんが。」

ナレ「公明党の山口代表は憲法改正に前のめりの安倍総理を牽制。連立与党内でも温度差があります。」 "

"安倍総理（衆院予算委員会、先月 10 日）「憲法審査会において、しっかりとした議論が行われること、行われそのことを通じて国民的な議論が広がっていくことをぜひ期待したいと思いますし。」

ナレ「事あるごとに憲法審査会での議論を呼びかけてきた安倍総理、先週、ようやく実質的な論議となる自由討

議が予定されていたのですが。」 "

"河井克行（法相）「私は法務大臣を辞めます。」

ナレ「憲法審査会の開催予定日に河井法務大臣が辞任。二年ぶりに行われるはずだったじい有闘技は見送られました。安倍総理が議論を呼びかけた臨時国会は相次ぐ閣僚辞任で紛糾し、改憲論議の停滞が続いています。安倍総理からはこんな発言も。」

安倍総理「これ以上、私がですね、あまりものすごい意欲を示すことはかえってマイナスだという、まあ友情的なご議論をされる我が党の人達がいるもんですから、若干不愉快ではありますが、それもですね、一理あると、こう思わざるを得ないので。」

ナレ「党内からの批判に対して、一理あると語った、安倍総理。憲法改正の道筋はどのように見えているのでしょうか。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「憲法について国民レベルで考えること自体は大切なことだとは思いますが、こちら、今 VTR にもありました、安倍総理の先月の国会答弁の抜粋です。私がものすごく意欲を示すことはかえってマイナスという人もいる、若干不愉快だが一理ある、というふうに語ったわけですが、これはどういった。」

星浩「これはですね、一つは大きなポイントになる発言だと思うんですね、安倍政権の前までは憲法論議というのは憲法審査会で与野党が一致点を探そうと地道に議論してきたわけですね、ところが安倍政権になってから憲法改正の中身を決めてですね、3分の2、与党の3分の2で通すんだ、というまあそういう意味では前のめりの姿勢になったわけですね、それに野党が反発して審議が進まないということになっていまして、そういう意味では今度のはじめてですね安倍さんが、あんまり総理が前のめりになるのはよくないんだというのは一理あると認めたわけなんですね、しかしまあ時既に遅しという感じがしまして来年の通常国会で議論がどうなるかなんでしょうが、いや、今までの野党の反発が強いので憲法論議そう簡単には進みそうにないというのが現状だと思います。」

小川彩佳「2020年新憲法施行の年にしたいというように総理はこれまでもおっしゃっていましたがね。」

このトピックに当てられた時間は446秒だった。昨日で憲法公布から73年とのことであるが、憲法公布の日に自民党は憲法についての集会を開催していたとのことだが、他の政党はそうした憲法を題材に集会などを行ったのだろうか。

もし、他の政党も憲法公布の日に合わせて集会などを行っていたが、自民党の集会だけを取り上げていたとすれば、それは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点について不十分であると言わざるを得ないだろう。

・アメリカ大統領選挙：

アメリカ大統領選挙について小川キャスターの「アメリカ大統領選挙は来年の11月3日です。弾劾に向けた動きなど、トランプ大統領は逆風のさなかですが、熱狂的な支持者の後押しで再選を目指します。対する民主党はトランプ政権の失敗を厳しく追及する女性候補が支持を伸ばしています。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"トランプ大統領「アメリカを再び偉大に。」

ナレ「先週金曜日の選挙集会、大統領選挙まで1年に迫り、支持者からはこんなコールが沸き起こりました。」
支持者「後4年、後4年」

岩田夏弥（報告）「今ですね、会場ではトランプ大統領に勝ってもらって後四年間トランプ政権を続けようとコールが起きています。」

ナレ「国内産業の保護を名目に中国製品への関税引き上げを相次いで打ち出し、過激派組織イスラム国の指導者の死亡を自らの手柄としてアピール。さらに、北朝鮮と対話を続けていることも成果として強調。」

トランプ支持者女性A「トランプ大統領は常識的で、アメリカのために戦っているから大好きです。」

ナレ「現在、議会ではトランプ大統領の弾劾に向けた動きが進んでいます、トランプ氏が大統領選のライバルの一人、民主党のバイデン前副大統領に不利な情報を得るためウクライナに不当に圧力をかけたとされる問題、下院は先週、調査を正式に始めるための決議案を可決しました。ただ、共和党支持者にとってはどこ吹く風、実に87%の人が支持しているのです、その理由の一つが好調なアメリカ経済です。」

"トランプ大統領「今のアメリカ経済は世界最高だ、前会の大統領選以降、新たに670万人の雇用を生み出した。」

ナレ「トランプ氏が大統領に就任していこう株価は50%近く上昇、陰りは見えてきたものの経済成長率は一時3%を超えました。しかし、その恩恵は幅広い層に行き渡っているのでしょうか。」

"ナレ「長蛇の列なのになぜか笑顔の人々、その先にいるのは野党民主党の候補者使命争いで先頭集団を走るウォーレン上院議員です、先月民主党候補者の支持率で一時、トップに立ちました。」

土居一雄（報告）「ウォーレン氏の集会で恒例となっているのが、この長い列です。セルフイーラインと呼ばれるものでウォーレン氏と自撮りをするために並んでいます。」

ナレ「ウォーレン氏は富裕層の寄付を集める資金パーティは開かず、代わりに様々な人々と写真を取り、直接言葉をおかわすことを重視しています。希望者がいなくなるまで自撮りに応じ、時には四時間以上に及ぶこともあるといいます。」

ウォーレン（民主党上院議員）「アメリカの歴史において、今こそ、夢を大きく持ち、懸命に戦い、勝利するときなのです。」

ナレ「ウォーレン氏が訴えるのは広がり続ける格差の是正です。」

ウォーレン「フルタイムの最低賃金ではママや赤ちゃんが貧困から抜け出せません、それは間違っている、だから私は戦うのです。経済構造を変える必要があります、構造改革です。」

ナレ「スピーチに耳を傾ける大学生のタイガー・ローゼンさん、いま、750万円もの学生ローンを抱え苦しんでいます。」

タイガー・ローゼンさん「卒業まで後1年、そのときにローンは9万ドル近くになっています。」

ナレ「卒業後もローンの返済に追われる学生は少なくありません、そこで学生ローンの免除を提案しているウォーレン氏の支持が広がっています。」

タイガー・ローゼンさん「裕福に生まれた人は裕福で、貧しく生まれた人は貧しいまま、それは本当のアメリカではありません。」

深井慎一郎（報告）「ウォーレン氏の主張の根拠の一つとなっているのが格差の拡大が止まっていないことを示したこちらの本です。」

ナレ「アメリカでは上位の0.1%が国全体の資産の20%を握っているといえます。」

エマニュエル・サエズ（カリフォルニア大学教授）「今の経済は少なくとも所得が下位半分の人たちには機能していません。マクロ経済が成長している間も富裕層しか成長を感じられないのです。」 "

"ナレ「こうしたなか、ウォーレン氏は大企業や富裕層への増税を訴えています。」

ウォーレン「自分が信じるもののために戦います。選挙はそのためにある、今、私達の民主主義は壊れています。」 "

"ナレ「ライバル候補を迎え撃つトランプ氏は。」

トランプ大統領「我々が雇用を生み出し、テロリストを殺している間に、民主党は完全に狂ってしまった。」

ナレ「民主党をアメリカの敵に仕立て上げ攻撃するトランプ流の選挙戦を今回も続ける考えです。」

トランプ氏支持者男性 B「私の家族は中小企業の経営者でトランプ大統領の減税に助けられている。彼の人道的スタンスの政策に賛同します。彼は偉大です。」

トランプ氏支持者男性 C「トランプ大統領は真実を話す、彼は約束をして、それを守っている。彼はアメリカ史上最高の大統領になりますよ。」

トランプ大統領「アメリカを再び強くする！」 "

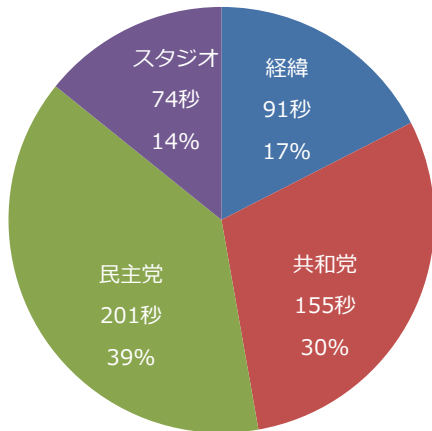
ナレ「トランプ劇場の継続か、それとも終幕か、来年11月の大統領選挙に向けて戦いは激しさを増しています。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「あの、私ちょっとした映画オタクなんですけれども、アメリカ映画のトレンドを追っていただけでも、ちょっと興味深いデータが有りまして、例年ヒーロー物だったりディズニー映画で埋め尽くされる全米の映画の興行収入トップテンに今年は格差の拡大、格差社会の闇を描いた映画が日本もランクインしていたんですね、まあこうした貧富の格差拡大の深刻さが共感されているという印象がさらに感じられたんですけれども、」

星浩「そうですね、格差はアメリカの最大のテーマだと思いますね、三年前の大統領選挙を取材したんですけれどもその時のトランプさんの手法はですね、その低所得者の白人労働者の怒りに火を付けるというやり方だったわけですよね、しかももう三年経って白人労働者はどうかって言うと高い関税に苦しんでいるということになっちゃっているわけで、まあウォーレンさんはそれに対して白人労働者とか格差に苦しむ若者の支持を集めようとしてまあ富裕層とか大企業への課税を強めるんだという作戦に出ているわけですね。トランプさんはそれに対して社会主義だという批判をされていて、まあ激しい論争になっていまして、しかしこの格差という問題にね、アメリカがどう向き合うのか、今度の大統領選挙のわたしは最大の注目点だと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は521秒で、経緯、共和党、民主党そしてスタジオでの議論それぞれの時間配分及び比率は以下の通りであった。



今回の報道では放送法上は特に問題は見られなかった。

・ RCEP：結論→特に問題なし

ナレーションによって「RCEP 東アジア地域包括的経済連携の首脳会議が 4 日、タイで開催され、インド以外の 15 カ国で交渉を終了したものの目標としていた 16 カ国による年内妥結には至りませんでした。中国に対し巨額の貿易赤字を抱えるインドが関税撤廃などの分野で慎重な姿勢を崩さず、参加国は来年中の協定の発効を目指して交渉を継続する方針です。」とことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 33 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

・ 日中関係：結論→特に問題なし

ナレーションによって「タイを訪問中の安倍総理は中国の李克強首相とおおよそ 1 年ぶりに会談し来年の春に予定されている習近平国家主席の国賓としての日本訪問に向け連携の強化を確認しました。一方で安倍総理は香港情勢についての憂慮を伝えた他、尖閣諸島周辺での領海侵入をやめるよう求めたということです。」とことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・ 憲法改正

スタジオでは小川キャスターの「憲法について国民レベルで考えること自体は大切なことだとは思いますが、こちら、今 VTR にもありました、安倍総理の先月の国会答弁の抜粋です。私がものすごく意欲を示すことはかえってマイナスという人もいる、若干不愉快だが一理ある、というふうに語ったわけですが、これはどういった。」というコメントに対して星キャスターが「これはですね、一つは大きなポイントになる発言だと思うんですね、安倍政権の前までは憲法論議というのは憲法審査会で与野党が一致点を探そうと地道に議論してきたわけですね、ところが安倍政権になってから憲法改正の中身を決めてですね、3 分の 2、与党の 3 分の 2 で通

すんだ、というまあそういう意味では前のめりの姿勢になったわけですよね、それに野党が反発して審議が進まないということになっていまして、そういう意味では今度ははじめてですね安倍さんが、あんまり総理が前のめりになるのはよくないんだというのは一理あると認めたわけなんですね、しかしまあ時既に遅しという感じがしまして来年の通常国会で議論がどうなるかなんでしょうが、いや、今までの野党の反発が強いので憲法論議そう簡単には進みそうにないというのが現状だと思います。」と応えており、安倍総理の発言の「一理ある」という方に力点を置いた取り上げ方をしていた。

しかし、導入の部分で小川キャスターも「悲願の憲法改正」と表現していたように、安倍総理にとって憲法は最重要政策なのだろう。

現職の総理総裁の掲げる最重要課題に対して自民党の動きが不十分であり、あまつさえ「あまりものすごい意欲を示すことはかえってマイナスだ」などと自民党の議員から言われては、安倍総理としては不愉快というのは容易に想像ができる話だろう。

そう考えると、この総理の言葉は自民党議員に対して、憲法改正の動きを促すメッセージと捉えることもできるだろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年11月5日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：アメリカがパリ協定離脱通告、参議院の木村議員の初質疑、東京五輪のマラソン移転 韓国文喜相氏が謝罪、天皇皇后両陛下が文化功労者と茶会		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島各地で冬の足音 ・アメリカがパリ協定離脱通告 ・参議院の木村議員の初質疑 ・中国のクローンペット ・菊池桃子さんが経産省局長と結婚 ・東京五輪のマラソン移転 ・韓国文喜相氏が謝罪 ・首里城公園が一部で営業再開 ・天皇皇后両陛下が文化功労者と茶会 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#クローンペット ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカがパリ協定離脱通告：結論→特に問題なし <p>スタジオでの小川キャスター「アメリカのトランプ政権が地球温暖化対策の国際ルールであるパリ協定からの離脱を国連に通告しました。温暖化対策に動こうとする世界に逆行するようなこの決定ですが、そのアメリカでは今、地球温暖化の時限爆弾とよばれる、ある自然現象のリスクが高まっているのです。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"トランプ大統領「アメリカは離脱すると通告した。恐ろしくておコストのかかる不公平な『パリ協定』からだ。」</p> <p>ナレ「温暖化対策のための国際的な枠組みであるパリ協定からの離脱、トランプ大統領はパリ協定の規定で離脱の手続きが可能となる4日、国連に正式通告したと発表しました。」</p> <p>"議長（フランス・パリ、2015年）「パリ協定を採択します。」</p> <p>ナレ「パリ協定はオバマ大統領時代の2015年に採択され、現在180を超える国と地域が締結。産業革命前に比べ気温上昇を2℃未満に抑えるという目標を掲げています、温暖化を招く温室効果ガスの排出量を見てみるとアメリカは中国に次ぐ世界二位の二酸化炭素の排出国です。しかし。」"</p> <p>"トランプ大統領「温暖化なんてほとんどうそっばちだ。金儲けするためのうそっばちなんだよ。」</p> <p>ナレ「トランプ大統領は温暖化対策よりも国内経済や雇用を優先する姿勢を貫いてきました。パリ協定からの実際の離脱は一年後の来年11月4日。ポンペオ国務長官は国際的な気候の議論では現実的で実用的な手法を提案</p>		

し続けるとする声明を発表していますが、国際社会から批判の声が。」 "

耿爽（中国外務省報道官）「アメリカはもっと責任を果たして多国間の協力を推進する貢献をしてほしい。」

小泉進次郎（環境相）「世界が合意したパリ協定の枠組みから世界第二位の排出国が脱退通告をしたことは非常に残念です。」

"ナレ「温暖化が影響していると思われる異常気象が相次ぐ中、世界では対策を求める声が高まっています。」

グレタ・トゥンベリさん「絶滅の始まりという危機にひんしているのに、金の話や永遠の経済成長というおとぎ話ばかり、よくそんなことが言えるわね。」

ナレ「気候変動対策を求める学生ストライキは世界各地の若者に広がっています。世界の動きに逆行するようなトランプ大統領のパリ協定離脱通告、温暖化の危機はそのアメリカの足元にも迫っています。」 "

"松本年弘(報告)「改めて注目を集める地球温暖化問題、ここアラスカの大地にいお大きな影響がでています。」

ナレ「北極圏に近く、オーロラの街として知られるアラスカ州、フェアバンクス、永久凍土という凍った土が溶けることが原因で一部の地域ではある現象が起きています。」

松本年弘「こちらご覧ください、住宅が陥没しています。」

ナレ「一階部分の窓やドアが半分近く地中に沈み込んだ家。こちらの道路は波打ったように歪んでいて走る車が上下にはねています。いずれも永久凍土が溶けたため起きた、地盤沈下が原因だといいます、フェアバンクスで複数の家を貸している大家のクナットソンさん"

"ディビット・クナットソンさん「だいたいさんねごとに貸家を回って水平にするんだ。7~10センチほど下がっていることもある。」

ナレ「住宅と土台の間に木の板を何枚も入れて地盤沈下に対応していました。永久凍土が溶けることによる影響は地盤沈下にとどまりません。」 "

"ゲリー・ラーセンさん（米国陸軍施設マネージャー）「永久凍土トンネルへようこそ。」

ナレ「ここはアラスカ州内でアメリカ陸軍が 50 年以上前から所有する永久凍土の研究施設。」

ゲリー・ラーセンさん「この壁に突き出ているのがステップバイソンの骨です。」

ナレ「永久凍土はカナダ、ロシアなど北極圏に近い大地に広がり、地球の陸地の実に 14%程を占めています。」

松本年弘「こちらが、1 万 5 千年以上前にできた永久凍土です。氷の部分にたくさんの気泡が見えますがここに二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスが含まれているといいます。」 "

"ナレ「実はこの永久凍土、地球温暖化の時限爆弾と言われているのです。アラスカの地で永久凍土の調査研究に取り組む日本人研究員の岩花剛さん。」

岩花剛（アラスカ大学フェアバンクス校研究員）「もうすぐ凍土面ですね。」

ナレ「岩花さんら日本人の研究チームはアラスカやシベリアの永久凍土のサンプルを採取して含まれる二酸化炭素やメタンなどの量を調べています。」 "

"松本年弘「これが溶けちゃうと中身が出てくるわけですね。」

岩花剛「そうですね、今までずっと閉じ込められていたものが開放されるという意味では一方的に放出、」

ナレ「そして、氷の気泡に含まれる温室効果ガスよりも懸念されることがあるといいます。」 "

"斉藤和之（海洋研究開発機構主任研究員）「植物の遺骸みたいなのがもうずっと何万年分固まっているんですね、それが今回溶けることに寄って改めて分解されていくんです。そして新しく CO2、メタンが作られて、それが大

気の方にてでくる、そちらのほうが実際のところ何桁もインパクトが大きい。」

ナレ「永久凍土が溶けると凍った動物や植物の死骸などの有機物が分解され二酸化炭素やメタンガスが大気中に放出されるのです。パリ協定では気温の上昇を 2℃未満に抑える目標を掲げていますが、永久凍土が溶けるだけで世界の気温が最大で 1 度上昇するとの予測もあります。パリ協定はコストがかかるとして離脱に踏み切ったトランプ大統領ですが、温暖化を放置するコストは日に日に膨らんでいます。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「相次ぐ台風や大雨で日本でも温暖化の深刻度というのを肌で感じるようになってきていますが、そうした中でトランプ大統領がパリ協定からの離脱を正式に通告しましたね。」

星浩「この 3 年間、トランプ大統領、色々おかしなことをやってきたんですけども、このパリ協定からの離脱というのはもっともおかしな判断だと私は思いますね、2 つの意味がありましてね、一つは今の国際協調の枠組みから勝手に出ちゃってですね、まあ自分だけ良ければいいという判断をしているということ、もう一つは将来世代が温暖化によって色々被害を受けるということを考えないで、今さえ良ければいいという発想をしているということなんです。ですからその米国という国は色んな分野でリーダーシップを取っていくはずだったのに、そのリーダーシップを放棄したという点でも非常に大きなマイナスだと思いますね。」

小川彩佳「うーん、ただこれ、正式に脱退の手続きが完了するのは来年の 11 月ですから大統領選の翌日、ということになりますから、これ、大統領選で国民が最後に審判を下すということになりそうですね。こちら、あのアル・ゴア副大統領に、元副大統領に去年お話を伺ったときにトランプ大統領ではなく、これはアメリカ国民の選択にかかっていると強調していらっしゃいました。」

このトピックに当てられた時間は 549 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・参議院の木村議員の初質疑：結論→判断保留

スタジオでの小川キャスターの「さて、続いてのニュースです。手足がほとんど動かせないという重い障害のある国会議員、れいわ新選組の木村参院議員が初めて今日、国会での質疑に挑みました。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「今日の参議院国土交通委員会、大きな電動車いすに乗って席についたのはれいわ新選組の木村英子議員です。今年 7 月の参院選で初当選したばかりの木村議員。生後まもなくして重い障害を負って橋が殆ど動かせません、今日の質疑では介助者が付き添い、代わりに挙手をしたり、水を飲むのを助けたりしました。最初の質問で取り上げたのは、」

木村英子（れいわ新選組、参院議員）「震災や水害などでは、車いすでは移動できず、避難所にはいけないことが多いのです、避難所に言っても車いすトイレがない、医療機器を使うための電源があるのかわからない。」

ナレ「相次ぐ台風被害などを受け、災害時に障害者が避難しやすくなる政策の必要性を訴えます。」

木村英子「例えば、聴覚障害者の方の場合、適切な避難情報を得られなかったために、避難所に行けずに亡くなる方もいます。知的障害を持つ子供を抱えた親が周りに迷惑をかけたくなくて、ひな所に行くことを諦めてしまうといった人が多いのです。国ではどのような対策をとっているのでしょうか。」

ナレ「答弁に立ったのは今井絵理子内閣府政務官です。」

今井絵理子（内閣府政務官）「市町村に対し、要支援者ごとに個別の避難計画を策定するように促しているところ

ろであります。」

木村英子「配布資料を見ていただくと分かる通り、殆どの自治体が個別計画の策定をしていない状況です。」

今井絵理子「個別計画の策定が進むよう、制度の趣旨やそのメリットについて周知しているところでもあります。」

ナレ「木村議員は学校のバリアフリーかや車いすトイレの基準についても問題を指摘、赤羽国土交通大臣から見直しを指示するとの答弁を引き出しました。」

木村英子「私を支援してくれた多くの障害者の人達の現状の一つをですね、皆さんに知っていただきたい、という思いで臨みました。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「声がなかなかあげられない、伝えられない、という立場の当事者の方が、当事者の目線で国会から発信するという重みを今日、目に見える形で実感したような感じがしましたね。」

星浩「国会議事堂というのは、非常にバリアフリーがもっとも遅れた公共施設の一つだと思いますんで、それから国会議員同士の質疑のやり方についても健常者を前提に作られているわけですよね、ですから今回その木村さんのような質疑がどんどんできるような体制ができてくるといいと思いますし、やはりその、木村さんの訴え、避難所の問題は非常に切実ですよね。こうしたその提起を取り入れてね、いろんな製作に実現をしてもらいたいと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 520 秒だった。

ちなみに、今回の参議院選挙で初当選した国会議員は衆議院議員経験者を除いても 37 名いるが、他の初当選議員の初質疑はニュースで取り上げられるのだろうか。重度の障害があるからという理由で特別に初質疑を取り上げ、他の健常者の議員の初質疑は取り上げない、あるいは他の初当選議員と比べても明らかに重点的に取り上げるというような報道の仕方をするのであれば、それは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点から問題があるといえるだろう。

いずれにせよ、他の初当選議員がどのように報じられるかということも注視が必要と考える。

・東京五輪のマラソン移転：結論→特に問題なし

スタジオでの山本キャスターの「東京オリンピックのマラソンと競歩の札幌移転、日本陸連の強化委員長らが改憲を開き、苦しい胸の内を語りました。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"麻場一徳（日本陸上競技連盟強化委員会強化委員長）「極めて、遺憾だと、暑さとか、危険だとか、そういう話もありましたけれども、それを承知の上で 4 年も 5 年も前から準備をしてきているわけですから。」

ナレ「マラソンの強化戦略プロジェクトリーダーの瀬古氏は。」

瀬古利彦（マラソン強化戦略プロジェクトリーダー）「やはり、あの IOC という力の前では我々どうにもできないと、困りますということを押し通したら、オリンピックがオリンピックからもうマラソンはやらなくてもいいと、言われるのではないかと、そういう思いがありました。」

ナレ「1980 年のモスクワオリンピックの際は、ボイコットにより選手として出場できなかった瀬古氏、出場が内定しているマラソンの服部勇馬選手からはこう声をかけられたといいます。」

瀬古利彦「瀬古さんのようにモスクワオリンピックでボイコットになるわけではないので、僕らは幸せです、と。まだ札幌という地でマラソンができるということは本当に瀬古さんたちと違って僕は幸せだというふうにつ

ていました。僕は本当に涙がでましたけれども本当にそうだと思います。」

ナレ「そして、札幌への意気込みについては。」

瀬古利彦「決まった以上は、優勝できるような、そういうチーム作りをみんなで、ワンチームでやっていきたい
と思います。」 "

このトピックに当てられた時間は 109 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・韓国文喜相氏が謝罪：結論→特に問題なし

韓国の文喜相氏の謝罪について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"文喜相（韓国国会議長）「もう一度私の発言により日本の方々の気持ちを傷つけたとしたら申し訳ないという意
を伝えたい。」

ナレ「来日中の韓国文喜相国会議長は今日の講演で当時の天皇陛下が元慰安婦に謝罪することが望ましいとの見
解を示した今年 2 月の発言について謝罪しました。さらに文議長は徴用工問題の解決策として日韓の企業と個人
から寄付を募って元徴用工らに支給する案を示しました。」 "

このトピックに当てられた時間は 46 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・天皇皇后両陛下が文化功労者と茶会：結論→特に問題なし

ナレーションによって「天皇皇后両陛下はきょう、文化勲章受章者と文化功労者を皇居に招き、茶会を催され
ました。茶会には文化勲章の受賞者でノーベル化学賞の受賞が決まっている吉野彰さんらが出席しました。陛下
は努力を重ね、学問、芸術、スポーツの分野で大きな成果を上げられましたことを誠に喜ばしく思いますと声を
かけられました。また、秋篠宮ご夫妻や長女の眞子さま、次女の佳子さまも参加し、出席者と会話を楽しまれて
いました。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年11月6日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：閣僚の任命責任、大学入試、スティルウェル国務次官補が訪韓		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳自にエアガン連射の虐待で両親を逮捕 ・新語流行語大賞ノミネート ・閣僚の任命責任 ・大学入試 ・元日本代表の國母容疑者を大麻取締法違反の疑いで逮捕 ・田代まさし容疑者がまた逮捕 ・台風19号の被災地 ・羽田空港で断水続く ・ソフトバンク孫氏「真っ赤っ赤の大赤字」 ・スティルウェル国務次官補が訪韓 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#年賀状 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閣僚の任命責任：結論→他の放送日との比較が必要 <p>スタジオの小川キャスターの「さあ、続いてお伝えするのは総理の任命責任を追及です。一週間のうちに二人の大臣が辞任する異例の事態を受けて、これまでに前例がないという国会審議が開かれました。」というコメントを受けて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"安倍晋三総理「辞任に際しての会見で今後とも説明責任を果たす旨、」</p> <p>野次「委員長、ちょっと！ 全然聞いてないことばかり。」</p> <p>委員長「御静粛にお願いいたします、ご静粛に」"</p> <p>ナレ「二人の大臣に絡む公職選挙法違反の疑惑が報じられ相次いで辞任した問題、閣僚の辞任を議題として予算委員会の集中審議が開かれるのは前例がないといいます、与党議員も異例の厳しい言葉で安倍総理の責任を質しました。」</p> <p>"伊藤涉（公明党議員）「一週間に2閣僚の辞任と怒りを通り超え、呆れ、総理は謙虚に反省をし、」</p> <p>安倍総理「任命したものとして、責任を痛感しております、行政を前に勤めていくことに全力を尽くしていくことで国民の皆様への責任を果たしていく決意でございます。」"</p> <p>ナレ「任命責任について行政を前にすすめることで果たす、と繰り返す安倍総理に野党は。」</p> <p>"大串博志（立憲民主党議員）「先程から聞いていると、総理の発言は、壊れたなんとかじゃないですけども、任命責任は深く私にあります、と。本当に任命責任を深く感じて再発防止をするような体制をとっているのかと、</p>		

二人共政治とカネの疑惑、もし真実であるとする議員辞職に値するような内容で辞任しているという、事実関係としてはどういうことだったのか、これは尋ねられたのですか。」

ナレ「質問は公選法違反などの疑惑の事実関係について辞任した二人に聴取したのか、ですが」、
 安倍総理「任命したものとして、その責任を痛感し、国政を前に進めていくことに全力を尽くすことで、公選法に関わることについてはですね、これは与党、野党に関わらずですね、そうした指摘があれば、当然その指摘に対して説明責任を果たしていかなければ、菅原大臣、あるいは河井大臣もですね、辞任に際しての会見で今後も説明責任を果たしていく旨、述べていくものと。」

大串博志「端的にお答えください、二人から事実確認は聴取してない、ですね。」

安倍総理「お二人のですね、記者会見等を大串議員がご覧になったかどうかは私は承知を、大串議員がですね、承知をしておりますが、その際にですね、その際に、お二人は説明をしておられると思っております。」

大串博志「要するに。事実関係の確認なんかやっていないということですよ、そういう態度だからまた起こるんですよ。」

ナレ「質問に正面から答えない安倍総理に対し、野党はこんな質問も。」

"渡部周（国民民主党議員）「もう、これ以上の閣僚の辞任はない、と。この場で総理、お約束をしていただきたいと思います。」

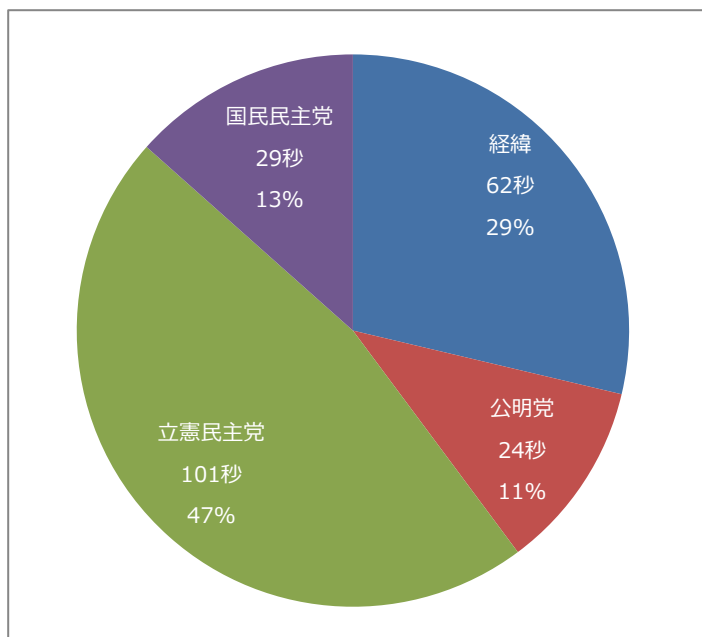
安倍総理「お二人を私は任命したわけでありまして、その責任を通関士。」

渡部周「これ以上の閣僚の辞任はないと。総理、真正面からお応えください。」

安倍総理「二人だったらいいという思いで組閣をしていいわけではないわけでありまして、これ以上の遅滞が無いように全力を尽くしていくことは当然であろうと。」

このトピックに当てられた時間は秒だった。

また、経緯と国会質疑について公明党議員、立憲民主党議員、国民民主党議員それぞれによる質問とそれに対して総理の応答のシーン、それぞれの時間配分及び比率は以下の通りであった。



今回の報道ではやや立憲民主党議員の質問とそれに対する総理の答弁のシーンが多く取り上げられていた。他の放送日との比較が必要であると考える。

・大学入試：

スタジオでの山本キャスターの「国会では導入が見送られた大学入学共通テストの英語の民間試験について誰がどのように決めたのか、その経緯の追及が始まりました。この大学入学共通テストを巡っては英語だけではなく国語や数学についても問題点を指摘する声が上がっています。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

大串博志（立憲民主党幹事長代理）「私、この導入の経緯が本当によくわからないところがありまして。」

ナレ「野党側が追及するのは政府が営利目的の英語の民間試験を大学入試に採用した経緯についてです。これまで萩生田大臣は省内の検討会議については非公開としてきました。」

"大串博志「議事録等々公開していただけないか、ということをお伝えしたいと思いますが、いかがでしょうか。」

萩生田光一文科相「基本的には公開をしていく前提で準備をさせていただきたいと思います。」 "

ナレ「一転、公開していくと応じた萩生田大臣、さらに検討会議の出席者についても質問が及びました。」

"川内博史（立憲民主党衆院議員）「この検討準備グループのメンバーに英語の専門家がいたかいなかった。」

伯井美徳（文科省高等教育局長）「その時点では検討準備グループに英語の専門家は含まれておりませんでした。」

"

"ナレ「問題は英語だけにとどまりません。」

高校2年生「国語の記述式問題、共通テストの記述式問題はすごく問題のあるテストだと思っています。」

ナレ「夕方、42000人分の署名を持って文部科学省を訪れた高校生、国語や数学でも新たに記述式の問題が導入されることについて、公平な採点ができるのか、など、不安の声が広がっています。新しい国語の試験では従来のマークシート式に加え、記述式の問題が合わせて3台出題されます、成績は点数ではなく総合評価のAからEの五段階で示すことになっています。採点を巡って教育現場からは疑問の声が上がっています。」 "

木村小夜（福井県立大、記述試験の作成に携わる）「能力のあるそれだけの採点者を確保するというは無理です、これは公平性を保てないです。」

ナレ「共通テストは50万人以上が受験するとされ、しかも二次試験が始まるまでの20日間程度で採点する必要がありますが、果たして採点者の確保や公平性は保つことができるのでしょうか、採点はおよそ61億円で落札した民間のベネッセコーポレーションの子会社に委託されます。そのベネッセの担当者は。」

"畑野君枝（共産党衆院議員）「アルバイト、を採用される予定ですか。」

山崎昌樹（ベネッセコーポレーション、学校カンパニー長）「アルバイトということも当然いらっしゃる。」

畑野君枝「学生のアルバイトも採用される予定ですか。」

山崎昌樹「学生なのか社会人なのか、あるいは国籍なのかということは私どもとしては問うておりません。能力があるかということを見させていただいて、」 "

ナレ「業者側は採点者の質については問題ないとしています。」

"川内博史（立憲民主党衆院議員）「(去年実施したプレテストで)採点修正の件数は何件ずつですか。」

伯井美徳「国語については役2万6000件中の76件、パーセンテージで約0.3%、」

川内博史「これ50万件になるとこれの約20倍(=約1500人)ですからね、大変な件数になるわけですね。業者による採点と受験生、これを受験した人の自己採点との不一致率、どのくらいですか。」

伯井美德「国語においては概ね3割。」

川内博史「不一致率が国語だと3割だと、これ自己採点が自己採点にならないことになるわけですね、これ志望校の出願にめちゃめちゃ影響するわけですよ。」

ナレ「では、この記述式の採点というのはどのくらい難しいのでしょうか。プレテストで出題されたのは指差しの効力について30文字以内で説明する問題、採点基準によるとふさわしい回答の条件は3つ、キーワードが入っているかなどの条件によってAからDの四段階で評価が付けられます。この問題の回答を30年以上に渡り国語を教えている予備校の講師に採点してもらおうと。」

"須藤明(英知義塾国語主任)「これは、この言葉で十分置き換えられているって考えればこれはマルなんです。このところが頼み事や尋ねごとという具体例になっているんですけども、これで限定されていても注意を向けさせることにはなっているんでしょね、そうやって考えるとこれは別に間違っているとはいえない。」

記者「この文字が入っていないからだめとかいうことではなく、」

須藤明「そうなんです、どこまでをまるにして、どこからを参画にしてっていうのを、2万人くらいですかね、そういう人たちの意思を統一しておかないとできないですよ。」

"ナレ「現役の高校生は」

高校生A「採点方式が確立しているのなら、アルバイトの人がやってもいいのかなと思うんですけども人によって採点のばらつきが出るというのは私達の人生にも関わってくる大事なことから、それはちょっと心配ですね。」

高校生B「みんな平等な採点者の問題とかもあって平等な解答例を作るのは難しそう、自分たちでも自己採点をしなくてはいけなくて、難易度というか、そこは大変かなと。」

ナレ「こうした声は、萩生田文科大臣に届いているのでしょうか。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「英語の民間試験は延期ということになりましたけれども、ここで大学入試に一気に注目が集まったことで今度は国語の記述式に関しても大きな反発が生まれていますね。」

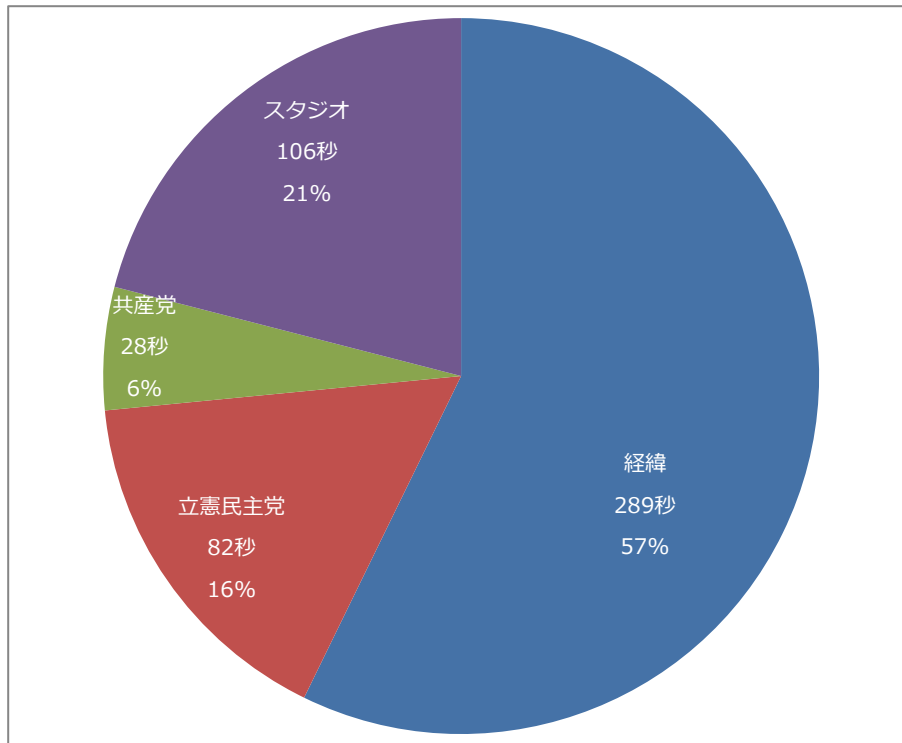
星浩「そうですね、その前に一言、総理の任命責任についてですけどね、やはりあの、辞任した閣僚に対してはね、総理はちゃんと呼び出して注意をするというのが、それが組織のリーダーとして必要なことだと思いますね、そのうえでですね、この英語の試験なんですけれども、これ民間と国の役割どうすべきかって意外と思いきい問題なんですよね、今、センター試験っていうのは50万人が全国700箇所を受けているというすごい試験なんですけれどもここでその記述式を導入するとなるとね、どうもなんかね、1万人くらいの採点者が必要らしいんですね、それは国だけでやるのは無理だということで民間に一部委託するっていうんですが、その経過がですね、いかにも不明朗なんですよね。」

小川彩佳「まあ採点を民間企業が請け負うということが決まったのが2017年ということで2年前のことですけどもやはり受験生にとっては人生の岐路の一つとなる非常に大事なポイントであるにもかかわらず膨大な人数が1万人という採点が必要であるとはいえ、ミスやブレが許されないこの採点を民間にそもそも委託していいものかどうかというそのあたりの議論は尽くされたのかなという疑問はありますよね。」

星浩「多くの人からすると、いつの間にか民間に委託されているのかっていう感じだと思いますね、まあ私自身はやはり国の関与は必要だと思いますけど、こういう制度を変える時はもし全部国がやる場合はこのくらいの手でいくら掛かる、民間に委託する場合はこうなるっていうオプションを示してね、どういう選択をしますかという議論が必要なんですけれどもそういう議論をもう一回やり直す必要があると思いますね。」

小川彩佳「そのための透明性は一番大事ですよ。」 "

このトピックに当てられた時間は 505 秒で、経緯を取り上げた場面、立憲民主党議員による質疑、共産党議員による質疑、スタジオでのやりとり、それぞれの場面への時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・スティルウェル国務次官補が訪韓：結論→特に問題なし

ナレーションによって「韓国を訪れているアメリカ国務省のスティルウェル国務次官補はカンギョンファ外相らと会談し韓国が決定した GSOMIA 破棄の見直しを求めました。これに対し、韓国側は破棄を決定するに至った理由を説明したということです。GSOMIA の失効期限は今年 23 日午前 0 時ですが、韓国側が破棄の撤回に踏み切るかどうかは不透明です。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・大学入試

最近、大学入試センター試験についてのニュースが多いが、そもそもセンター試験とはなんのための試験なのだろうか。

入学試験というのは本来、学校が自らのアドミッションポリシーに沿って、受け入れたい学生を選抜するものであるのだから、センター試験というものを必ずしも利用する必要はないのではなかろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年11月7日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
<p>検証テーマ：皇位継承をめぐる問題、下村元文科相が“業者と蜜月”報道を否定、 五輪マラソン競歩競技の開催地変更問題、障害者の権利保障、憲法改正をめぐる問題 米軍基地をめぐる問題、台風被害からの復興</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児死亡エアガンで虐待か ・森田千葉県知事が台風直撃翌日に別荘にいたとする週刊誌報道で反論 ・皇位継承問題をめぐる問題 ・覚醒剤の所持などで逮捕の田代まさし容疑者 ・下村元文科相が“業者と蜜月”報道を否定 ・五輪マラソン競歩競技の開催地変更問題 ・障害者の権利保障 ・首里城火災、延長コードに溶けた跡 ・憲法改正をめぐる問題 ・米軍基地をめぐる問題 ・台風被害からの復興 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇位継承をめぐる問題→結論：問題なし <p>小川キャスターの「さて、天皇陛下の即位を祝うパレードが今度の日曜日と迫っています。祝賀ムードに沸く日本列島ですが、ここで立ち止まって考えたいのが今後の皇室の行方、いわゆる皇位継承の問題です。女性天皇や女系天皇を認めるか、自民党の一部から厳しい反対の声も挙がっています。」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「午後3時前、東京港区の路上には警備犬が。警備犬による不審物の検索が行われています。天皇陛下の即位を祝い、日曜日に行われるパレード「祝賀御列の儀」、パレードのコースでは警視庁の警察官や地域の住民ら約70人が合同で警備を行いました。着々と進む即位の儀式。一方で残された課題もあります。今後の皇位継承の問題です。法律では皇位を継承できるのは男系の男子のみとされています。これに当てはまるのは、常陸宮さま、秋篠宮さま、悠仁さまの3人だけ。将来のいずれかに皇位を継承できる人がいなくなりかねない状況なのです。」</p> <p>ナレーター「そこで上皇陛下の退位を可能とした特例法の付帯決議では、安定的な皇位継承について代替わりのあと速やかに検討するとされました。焦点の一つは女性天皇や女系天皇を認めるのか。先月、安倍総理は」</p> <p>安倍首相「男系の継承が古来例外なく、維持されてきたことの重みなどを踏まえながら、慎重かつ丁寧に検討を</p>		

進める必要があります」

ナレーター「父親を辿っていけば初代の神武天皇に繋がるとされる男系の伝統に触れた総理。野党時代の 2012 年、月刊誌にはこんな文章を寄稿しています」

ナレーター※文芸春秋 2012 年 2 月特集の安倍晋三氏（衆院議員、現首相）の寄稿文の一部を読み上げ「2000 年以上にわたって連綿と続いてきた皇室の歴史は、世界に比類のないものである。そして、皇位はすべて「男系」によって継承されてきた。私は皇室の歴史と断絶した「女系天皇」には明確に反対である」

ナレーター「安倍総理はこの文章の中で、歴史上女性天皇はいたものの、父親が天皇に繋がる男系の女性天皇だったとしています。一方、女性天皇の子供は母方のみ天皇の血を継ぐ「女系天皇」これは伝統に反し認められないとしたのです。その議論が一気に注目された時があります。2004 年小泉政権は有識者会議を設置し、女系天皇や女性天皇を認めるべく皇室典範の改正を目指したのです」

記者「なぜ今回の通常国会で成立させなければならないのでしょうか？」

小泉純一郎氏（首相※当時）「皇位の安定的な継承のためには早くやった方がいいでしょう」

ナレーター「その同じ年、秋篠宮家に第三子・悠仁さまが誕生、皇室典範の改正は見送られました。当時官房長官だった安倍総理はもし改正案が成立してたらと、後にこう振り返っています。」

ナレーター※文芸春秋 2012 年 2 月特集の安倍晋三氏（衆院議員、現首相）の寄稿文の一部を読み上げ「皇位継承第一位は愛子さまとなり、悠仁さまが天皇として即位することは永遠になくなっていくかもしれないのだ。皇室の歴史に取り返しのつかない変化を招いてしまった汚名は後世決して消えることはなかつたろう」

ナレーター「自民党の保守系の有志議員は、女系天皇を巡る議論をこうけん制しました」

青山繁晴氏（参院議員）「今後もし女系天皇、母系天皇を認めれば、天皇家の皇室は終わり、異質の王朝、天皇ならざる天皇を生み出すことと直結すると」

ナレーター「その後、皇族の身分を離れた旧宮家の男系男子が皇族に復帰できるようにするとした提言を発表しました。一方最近の安倍総理はこの問題に関し、慎重な言葉を選んでいきます。」

安倍首相「この問題に対する対応等には、様々な意見、考え方があり、国民のコンセンサスを得るためには十分な分析、検討や慎重な手続きが必要です」

ナレーター「今後の検討の行方は？政府高官はこう話します」

政府高官「会議を開くということはなにか結果を出さなくてはいけない。いまはそういう時期ではない。」

ナレーター「来年の 4 月には皇位継承第一位の秋篠宮さまが皇嗣となったことを披露する「立皇嗣の礼」が行われます。それまでは表立っての議論が先送りされる可能性があります。」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

小川キャスター「ここからは皇室の取材を続けている、TBS・牧嶋博子解説室長と続けていきます。まずはこちらをご覧ください。こちらが現在の皇室の構成です。見てみると女性の方が非常に多いと言う印象がありますが、このなかで皇室典範が規定する皇位継承者、いわゆる男系男子を見ていきますと、秋篠宮さま、悠仁さま、そして常陸宮さまとお三方しかいらっしゃいません。次世代の継承者と言えるのは悠仁さまおひとりと言うことになるのですよね？」

牧嶋博子氏「ですから今後悠仁さまが即位されて、その後男子がお生まれにならなければ皇位継承者が絶える可能性があります。そのために議論を早く進めなきゃいけないということがあります。それで、宮内庁関係者、

宮内庁の元幹部ですが、「今の制度ではきわめて不安定、選択肢が無くなる前に早急に議論してほしい」女性皇族は結婚しますと、皇族を離れてしまうので、どんどん皇族の数が少なくなってしまうという現状があると思われます。」

小川キャスター「では、どうするのか？ということで、一つの対応としては男系男子に限らず、女系天皇・女性天皇を認めていくという考えもあります。こちら共同通信が即位の礼が終わった週末に調査した世論調査ですが、女性天皇を認める賛成 81.9%、女系天皇は賛成 70.0%、この「女性」「女系」というのは牧嶋さんどういうことなのでしょう？」

牧嶋氏「ちょっとややこしいのですが、ちょっと説明したいと思います。女性天皇とは文字通り女性の天皇です。過去に 8 人いましたが、いずれも父方が天皇の血筋の男系の女子となります。女系天皇というのは、この女性天皇の存在が前提になります。母方が天皇の血を引いていて、生まれた子供が女系になるわけです。男の子であっても女系となり、即位すれば女系天皇となるわけで、これまで一例も存在していないということになります」

小川キャスター「ただいずれも女性天皇にしても女系天皇にしても、認めるということに賛成の方が 8 割・7 割と非常に高い比率でいらっしゃるということですが、一方で男系男子を守り続けるべきとの立場の方もいます。その人たちはどのような考えを持っているのでしょうか。保守系の方々からは旧宮家の復活の声があるわけで。この旧宮家とはどういった方たちでしょうか」

牧嶋氏「旧宮家とは、旧皇族という言い方をしたほうがよろしいかと思いますが、戦後 GHQ の方針で皇室典範の規定に基づいて皇室を離脱した 11 の宮家というのがございます。この 11 の宮家を復活させる、もしくは女性皇族の将来の夫となる人が現れて男の子が生まれればそれは男系になるでしょう、男系を維持することができるという考え方なのです。」

小川キャスター「男系を守り続けることができる」と

牧嶋氏「男系を守り続けることができるだろうと」

小川キャスター「そうした考えを自民党の保守系の議員が提言としてまとめたわけですが、小泉政権時代を見返すと女系天皇、女性天皇を認める皇室典範の改正の議論が進んでいましたが、官房長官だった安倍総理は否定的な意見だったわけですね。その安倍さんが総理大臣になっていることを考えると、男系継承の意見が強くなるのでしょうか？」

星キャスター「かつては絶対男系男子だという保守的な立場だったのですが、7 年間政権にあって象徴天皇の現状を見たり、悠仁さまへの重圧を見て、少しずつ軌道修正しようと思ってるのでしょうか。一方で安倍総理の足元には右派の保守の人が多いわけですから、なかなか軸足を動かすわけにはいかないというのが今の現状なんです。それから菅官房長官は女性天皇を含めて広い検討をしてもよいというお持ちだと言われまして、この辺がこれからの検討のなかで色々な議論が出てくると思いますね」

小川キャスター「その議論はどういった方向に進むのでしょうか」

星キャスター「来年の春先から有識者会議を含めて議論を進めていくと思われます。一方で生前退位の時に国会で与野党超党派で議論した、意見をまとめたということがあるので、今回もこの問題を政争にはいけないと、超党派で議論をしてはいかかという議論もありまして、来年の春以降具体化してくるとは思います。なにせ急がなければいけませんので、早急に検討を始めてもらいたいと思いますね。」

小川キャスター「本当に待ったなしですからね。」

このトピックに当てられた時間は 721 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・下村元文科相が“業者と蜜月”報道を否定→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

下村博文氏（元文科相）「私のセミナーに（業者関係者が）1人か2人が参加したという話だが、そんなことで何か便宜を図るといことは 100%あり得ない話で非常に迷惑な話です。」

ナレーター「自民党の下村元文科相は昨日発売の週刊誌で延期となった大学入試への英語の民間試験導入を巡り試験業者との間に蜜月関係があると報じられたことについて、否定しました。その上で民間試験の活用を決めた時の文科大臣は自分だとしたうえで、具体的な導入の議論はそのあとに始まったと説明しています」

このトピックに当てられた時間は 49 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・五輪マラソン競歩競技の開催地変更問題→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「東京五輪のマラソン、競歩の札幌での開催を巡り、大会組織委員会の森会長は札幌を訪れ、鈴木知事と会談しました」

鈴木直道氏（北海道知事）「不安の中の 1 つとしてございますのは経費の問題であります。組織委員会にご負担をいただくことが基本的な考えとして認識しています。」

森喜朗氏（大会組織委員会会長）「経費の話はよく承りました。これから協議しながら北海道に迷惑を掛けないように」

ナレーター「また男子マラソンの日程については」

森氏「日程では最後の 9 日が閉会式と男子マラソンになっていましたが、これは無理です。ドーピングの問題もあって検査しないといけないから」

ナレーター「(森氏は) 日程変更の必要性を示しました」

このトピックに当てられた時間は 60 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・障害者の権利保障→結論：問題なし

山本キャスターの「ALS 患者のれいわ新選組の船後靖彦議員が初めての質疑に挑みました」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

電子音声「はじめましてれいわ新選組の船後靖彦でございます。質問方法などについてご配慮いただきありがとうございました」

ナレーター「船後議員は全身の筋力が徐々に衰える難病 ALS のため、声を出すことが難しく、冒頭コンピュータの音声で抱負を述べました。その後は秘書が代読する形で、消費税引き上げによる教育現場への影響など教育問題を中心に質疑を行いました。」

このトピックに当てられた時間は 50 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・憲法改正をめぐる問題→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「衆議院の憲法審査会が開かれ、いまの国会では初めて実質的な議論が行われました。自民党は新藤議員は改めて憲法改正の必要性を主張。与党側は国民投票法の改正案の議論を進めたい考えですが、河井前法相の辞任に伴って協議が仕切り直しになるなど、今の国会での成立は難しい状況です。」

このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・米軍基地をめぐる問題→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「訓練中であったアメリカ軍三沢基地所属の F16 戦闘機が訓練場の敷地外に精密誘導弾の模擬弾を落下させました。模擬弾は既に発見されており人がいないということです。菅官房長官はアメリカ軍に厳重に抗議したことを明らかにしたうえで、事故に関する更なる情報の提供や実効性がある再発防止策を求める考えを示しました。」

このトピックに当てられた時間は 31 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・台風被害からの復興→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「台風 19 号などの一連の豪雨災害をめぐり、政府はおよそ 1300 億円の財源を充てた支援策を取りまとめました。被災地を訪れた観光客には 1 泊あたり 5000 円の旅行代金を割り引くほか、一部損壊の住宅について対象にする支援策が盛り込まれています」

このトピックに当てられた時間は 24 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・皇位継承をめぐる問題

本放送中では、現行の皇室典範に基づく皇位継承資格を有する男性皇族が、天皇の弟にあたる秋篠宮殿下、秋篠宮の長男にあたる悠仁内親王殿下、そして上皇の弟にあたる常陸宮殿下の 3 名しかおらず、現行の制度を維持している限りにおいて近い将来皇位継承の有資格者が絶える可能性を孕んでいるとの前提に立った上で、下記のスタジオでの各キャスターならびに識者のコメントに表されているように、内閣または国会議員等に対して迅速な議論の開始を求める論調が目立っていたが、果たして様々な政策課題が山積するなかで貴重なリソースを投じて結論を導き出すだけの緊急性が存在するか甚だ疑問である。

★牧嶋氏「ですから今後悠仁さまが即位されて、その後男子がお生まれにならなければ皇位継承者が絶える可能性があります。そのために議論を早く進めなきゃいけないということがあります。(略)」

★星キャスター「(略) なにせ急がなければいけませんので、早急に検討を始めてもらいたいと思いますね。」

★小川キャスター「本当に待たなしですからね。」

なぜなら、天皇の年齢は現在 59 歳(※2019 年 11 月 8 日現在)であり、(不敬にあたるかもしれないが)日本人男性の平均寿命にあたる 81 歳まで生存すると仮定すれば(※一般論として、皇族の健康状態は宮内庁内の高度な知見を有する医療スタッフによる管理下にあり、疾病の早期発見・早期治癒を実現しやすい環境にあるといえよう)、そこに至るまでには 20 年あまりの時間が残されていると考えられる。

天皇と 6 歳差の秋篠宮殿下についても、ほぼ同様の想定が当てはまるであろう。

また、悠仁内親王殿下に至っては、現時点では民法上の婚姻年齢にも遥か満たない 13 歳の中学生であり、現時点では婚姻や生殖を考える立場ではないが、生殖機能の面では嫡子を得ることについて 30 年～35 年の猶予が残されていると考えられる。

以上の事象を鑑みると、この皇位継承をめぐる問題について数年単位のタイムスケールで解決策を導出するほどの緊急性を要していないばかりか、むしろ拙速な議論を促し、皇室を巡る議論では切っても切り離せない歴史的、宗教的経緯を無視した場当たりの解決策が俎上に上ることに繋がりにかねないのではないだろうか。

- ・下村元文科相が“業者と蜜月”報道を否定

本放送中で、大学入試共通テストへの英語民間試験の導入を巡って自身と試験運営事業者の間の癒着関係を報じた週刊誌報道に対する下村博文元文部科学大臣の反論として、「**その上で民間試験の活用を決めた時の文科大臣は自分だとしたうえで、具体的な導入の議論はそのあとに始まった**」と説明しているとの旨が報道されていたことを受けて、関連する出来事の時系列をもとに発言の妥当性を検証したところ、

下村氏が文科相在任中には提言や答申の段階を超えておらず、具体的な導入にかかわる議論、特に事業者との癒着の温床となる実施事業者の認定については後の文科相のもとで行われていることが明らかであり、今回の下村氏の発言については事実と適合していると考えられる。

- ・2013 年 10 月⇒**下村文科相**

政府の教育再生実行会議がセンター試験に代わる新テストの導入と、民間試験活用の検討を提言

- ・2014 年 12 月⇒**下村文科相**

中央教育審議会が英語民間試験の導入を答申

- ・2016 年 5 月⇒**馳文科相**

文科省で新テストの「検討・準備グループ」が議論を開始

- ・2016 年 8 月⇒**松野博一文科相**

文科省が新テストの検討状況を公表

「4 技能評価には、民間の資格・検定試験を活用する必要」

- ・2017 年 7 月⇒同

文科省が大学入学共通テストの実施方針を公表。英語は民間試験を活用

- ・2018 年 3 月⇒**林芳正文科相**

共通テストで使われる 8 種類の民間試験を大学入試センターが認定

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年11月8日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：国会論戦、表現の自由、税金の無駄遣い、中東情勢、台風被災地支援		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池袋暴走事故、運転手の元通産官僚を来週にも書類送検 ・国会論戦 ・香港抗議活動で初の死者 ・エアガンで襲撃を受け1歳男児が大けが。父親が撃ったとする兄の証言 ・表現の自由 ・大麻密輸で逮捕の元スノーボード五輪選手、販売目的で輸入か ・税金の無駄遣い ・「ベルリンの壁」崩壊30年、消えない傷 ・中東情勢 ・台風被災地支援 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会論戦→結論：問題なし <p>小川キャスターの「まずお伝えするのは国会です。安倍総理のヤジで紛糾した集中審議ですが、総理が主催する桜を見る会の予算を巡っても厳しい追及が行われました」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「"ヤジは国会の華"、安倍総理はそう思ってるのでしょうか」</p> <p>杉尾秀哉氏（参院議員、立憲民主党）「あのときも総務大臣、ヤジらないでください。」</p> <p>ナレーター「ヤジを飛ばされいら立つ野党議員、それでも総理は」</p> <p>杉尾氏「政治的公平性の解釈について…何ヤジってんですか！何が共産党なんだ！何言ってるんですか！」</p> <p>ナレーター「「共産党か」と揶揄した安倍総理のヤジに国会は紛糾しました。」</p> <p>金子原二郎氏（参院予算委員長）「不規則発言については、厳に慎んでいただくようお願い致します。"小さい声"でもよろしくお願いたします」</p> <p>ナレーター「委員長はあえて"小さい声でもだめ"と注意しますが、そのさなかも総理は指を差すこのしぐさ。野党はまた激怒」</p> <p>金子氏「誤ったんだから注意したんだからいいじゃないですか」</p> <p>蓮舫氏（参院議員、立憲民主党副代表）「手を出してヤジを挑発するかのような何ですか！」</p> <p>ナレーター「総理は一昨日も加計学園を巡る質問に」</p> <p>今井雅人氏（衆院議員、「立・国・社」会派）「(文科省のメモは) 誰かが作ってるわけですか」</p>		

安倍首相「あなたが？」

今井氏「私じゃありませんよ。誰かが作ってるわけで。「あなたが」というのは失礼ですね。私がそんなもの作れるわけじゃないじゃないですか、総理。なぜ私がこんなもの作れるんですか。失礼ですよ、今の」

ナレーター「結局、総理は謝罪に追い込まれました」

安倍首相「座席から私が言葉を発したことについては、申し訳なかったと思います」

ナレーター「今日の参院予算委員会、相次ぐ大臣の辞任で任命責任が問われる中、あの前大臣にこんな話も」

福山哲郎氏（参院議員、立憲民主党幹事長）「びっくりした話が今日出てきています。先般おやめになった河井前法務大臣、地元で自らの運転手に指示を出して、時速 140 キロで高速で走行していたという報道があります。

（河井氏の）事務所内の連絡、ラインの内容を私も入手しています、「県警より"現在 140 キロで飛ばされていますが、このようなことをされたら”こちらとしては庇いきれません"とお電話がありました」と

ナレーター「法務大臣でありながらスピード違反での走行を指示していたという疑惑」

福山氏「この時点ではれっきとした法務大臣ですから、こういった事案があったのかどうか、国家公安委員長お答えください」

武田良太氏（国家公安委員長）「広島県警本部におきまして、事実関係を確認し、それに基づいて適切に対処するものと承知を致しております」

福山氏「ということは、公安委員長、事実関係を確認していただいたということですね？」

ナレーター「広島県警の幹部はこう話しています。「河井大臣の車には県警の警備車両も追走していたが、速度の取締装置がなく違反切符を切れないので注意・警告することしかできない」

福山氏「法務大臣が 140 キロで走れと言って県警に注意をされる。横に載っている SP さんも県警も困ったと思いますよ。総理、これについてどう思われますか？」

安倍首相「ただいま委員が挙げられました事実については私は承知しておりません。」

福山氏「総理ね、国会で何でもかんでも答弁をはぐらかしていたらいいというものではありませんよ。おかしいことはおかしいと言わなければいけないですよ、やっぱり」

ナレーター「そして、野党が最後に追及したのは安倍総理が毎年主催しているこちらの会。毎年 4 月に東京・新宿御苑にて行われている桜を見る会について、参加者は年々増え続け今年はその数 18200 人」

田村智子氏（参院議員、共産党）「驚くのは来年度の要求額ですね。今年度の支出額を超えて 5730 万円を要求している。総理なぜこんなに参加者と支出額を増やしてきたんですか？」

安倍首相「各界において功績功労があった方々を各省庁の意見を踏まえ幅広く招待しております。招待者の取りまとめ等には関与していないわけであります」

田村氏「参加した皆さんはインターネットでその模様をたくさん発信していただいているので見てみました。

（友田たもつ・山口県議のブログを引用して）「安倍首相には長く政権を続けてもらい、今後もずっと「桜を見る会」に下関の皆さんを招いていただきたい」

総理ご自身も地元後援会の皆さんを多数招待されているじゃないですか。」

安倍首相「個人に関する情報であるため回答を差し控えさせているというのが従来からの政府の立場であります」

田村氏「税金を使った公的行事であり、だれでも参加できるわけじゃないんですよ。どのような功労・功績があ

るのか説明できないとおかしいですよ」

安倍首相「回答を控えさせていただいているということでもあります」

田村氏「首相動静この3年間、桜を見る会の前日、安倍晋三後援会桜を見る会前夜祭出席と、3年間ずっとあるんですよ。今年の前夜祭の参加者は約850人、翌朝貸し切りバス17台で新宿御苑に移動、まさに安倍総理の後援会の一大行事になってるのではないかと、違いますか？」

安倍首相「招待客については先ほど来から答弁しているとおりでございます」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「予算委員会、今日も様々な追及がありましたけど星さん。」

星キャスター「まず桜を見る会ですけども、安倍総理の後援会のメンバーが大量に参加しているのを見ますと、各界の功労者を招くという趣旨からみ出していますね。お酒や料理は税金で出されているわけですから、公私混同の疑いは濃厚だと思いますね。やっぱり総理周辺や自民党からもそれはおかしいのではないかとの声が本来上がるべきですが、それが出ないというのは長期政権の弊害になってきているのではないかと思いますね」

小川キャスター「それから2日前も安倍総理はヤジを飛ばしていましたが、今日もまたヤジが飛びました。総理はもっとどっしりされているものかと思いますが、総理のヤジが当たり前前に飛ぶ国会とはどうなのでしょう」

星キャスター「今日のヤジはどうかというヤジで非常に悪質だと思いますが、こんなに自分の席からヤジを飛ばす総理大臣は見たことありませんね。この程度の挑発でカッとなるようでは世界中の海千山千のリーダーと伍していけるのかと心配になってきてしまいますよね。やっぱり苛立ったりヤジを飛ばしたりすると、見ている国民も政権は大丈夫なのかと不安になりますからね、そういうふうに見せないというのも総理大臣として大切なことだと思いますけどね。」

このトピックに当てられた時間は477秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・表現の自由→結論：問題なし

小川キャスターの「オーストリアと日本の国交が今年で150年を迎えたのですが、それを記念して現在ウィーンで芸術展が開催されています。ところが現地の日本大使館が先月末この記念事業としての認定を取り消したのですね。その訳を探ってみました」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

大八木友之氏（TBSテレビ記者）「こちらが日本大使館から認定を取り消された芸術展の会場です。多くの人々が訪れています。」

ナレーター「オーストリアのウィーンで開催されている芸術展「ジャパン・アンリミテッド」、この芸術展は日本とオーストリアの国交樹立150年を記念した事業で、日本とヨーロッパの芸術家18組の作品が展示されています。日本の総理大臣を名乗る人物が中国や韓国に謝罪する動画、東京電力福島第一原発事故の謝罪を題材にした作品、これは放射線防護服に日の丸の血が流れるようなオブジェです。芸術展は記念事業の一つとして現地の日本大使館が認定し、9月下旬に始まっていましたが、突如先月30日付で認定を取り消したのです。その理由について、日本大使館側は「両国の友好関係の促進という事業目的には資さないと判断した。いろんな声を受けた結果であり、個別の作品や作者から判断したものではない」交流イベントは日本でも開催されていて、これが交流事業としての認定を示す公式ロゴです。認定の取り消しによって公式ロゴが使えなくなりましたが、日本側から助成金が交付しておらず引き続き開催されるといいます」

展示を見た人「アーティスト個人の表現だから政治的に問題はないよ」

展示を見た人「民主的な社会では、こうした批判的な表現は許されるものです」

ナレーター「取材に応じた一人は日本側の対応に戸惑いを隠せません。」

マルセロ・ファラベゴリ氏（「ジャパン・アンリミテッド」学芸員）「日本の大使館は本当に最初は何も問題ないと言っていました。あいちトリエンナーレの問題があったからだと思います。」

ナレーター「今日文化庁の前で行われた抗議デモ、文化庁が「あいちトリエンナーレ」に補助金を交付しないと決定したことについて、不交付決定の撤回を求めています。あいちトリエンナーレでは従軍慰安婦の象徴する少女像などを展示する「表現の不自由展・その後」が抗議や脅迫を受けて展示を一時的に中止しました。ウィーンの芸術展でも「表現の不自由展・その後」に参加していたグループが出品しています。実は今回の展示内容を問題視し、外務省や大使館に匿名や実名で"反日的だ"などの批判が相次いでいました。批判の声を挙げた一人、自民党の長尾敬衆院議員、JNN が取材を申し込みましたが「Twitter での発言がすべて」だと答えました。」

※長尾敬議員の Twitter 「使用許可のハードルが低いロゴマークとて、誰かがお墨付きを与えたと思われることを利用した新手の手法。不快感しか覚えない作品が両国友好に資するとは思えません」

ナレーター「外務省に対して JNN が取材したところ「批判の声が複数外務省にあったため、大使館員が展示内容を調査した」と回答。9月26日から始まった芸術展ですが、1月以上を経て記念事業としての日本側の認定は取り消されました。記念事業の要件を満たす、満たさないという線引きはどこにあるのでしょうか、茂木外務大臣は」

茂木敏充氏（外相）「正しい両国の理解につながるか、友好関係の促進につながるのか、こういう観点です」

ナレーター「両国の友好関係にどのような影響を与えるのか、現地では今月下旬まで開催されています」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「この芸術展に参加しているアーティストの一人、会田誠さんが Twitter でこのように語っています。「この作品を見ずに何かを判断した者がいることに、強い抗議の意を示します」「傷を負ったのは「日本」という国ですよ」既に展示会は5週間にわたって開かれており、来館者の反応も含めて現場ではなにも問題は起こっていないにもかかわらず、一転して認定取り消しと言うこの展開には違和感を覚えてしまいますが」

星キャスター「政府の関係者に聞いてみますと、自民党から批判があったのでそれを受けて外務省が認定を取り消したというのが実態のようですね。外務省の中にも過剰反応ではないかと言う声もあるぐらいでして、やはり政治的反応を受けて取り消すということは過剰反応そのものだと思いますね」

このトピックに当てられた時間は 379 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・税金の無駄遣い→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「会計検査院の決算報告書によりますと、昨年度官庁などの税金の無駄遣いや制度の改善を求める要求は 335 件で総額 1002 億 3058 万円でした。なお指摘された金額が最も多かったのは経済産業省の 203 億円でした」

このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 中東情勢→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「中東のホルムズ海峡などの安全確保に向けて、アメリカ主導の有志連合はバーレーンに司令部を設け、正式に活動を始めました。アラビア湾やオマーン湾などでも警戒や監視活動を行い、地域の安全を確保することです。」

このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 台風被災地支援→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「政府は一連の台風で被災した人の生活や仕事の再建に向け、今年度の予備費から 1300 億円を充てることを閣議決定しました。打撃を受けた観光地の支援のために、1 人 1 泊あたり 5000 円の旅行代金を割引くなどの補助を盛り込まれています」

このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・ 国会論戦

星キャスターは、共産党の田村智子参院議員による「桜を見る会」をめぐる疑惑に関する国会質問の VTR を受け、以下のようにコメントしていたが、「公私混同の疑いは濃厚だと思いますね」という表現に象徴されているように、今回の疑惑を安倍首相の公職者としての倫理観の問題として矮小化しているような印象を受けた。

★「安倍総理の後援会のメンバーが大量に参加しているのを見ますと、各界の功労者を招くという趣旨からみ出していますね。お酒や料理は税金で出されているわけですから、公私混同の疑いは濃厚だと思いますね。」

むしろ問われるべきは、後援会メンバーを招待することが本会の趣旨に合致するかを検証しようにも、個々の招待理由を問えば「個人情報」を理由に回答を拒み、また参加者一覧のリストの開示を求めれば「今年の資料についてもすでに開催が終わったので廃棄した」（井野靖久内閣府大臣官房長、2019 年 5 月 21 日衆院財務金融委員会にて宮本徹衆院議員の質問に対して）と開示が不可能と述べる政府の姿勢、

つまり、「桜を見る会」が公金を充当して開催されたイベントであるにも関わらず、「外形的公平性を検証できない・検証させる気もない」という政府の姿勢ではなかるうか。

政治記者出身の星キャスターには、「公私混同」という月並みのコメントではなく、先に述べた外形的公平性の検証可能性の観点からのコメントを求めたかった。